

もえぎ台小学校跡地(C棟および周辺敷地)の
土地利用に関する要望書

令和8年2月

相武台地区まちづくり会議

I 市への要望

相武台地区まちづくり会議では、本年度に実施した地区アンケートおよびワークショップの結果を踏まえ、もえぎ台小学校跡地のうち C 棟およびその周辺敷地の土地利用(活用方法)について、下記のとおり要望いたします。

本跡地は、閉校後もなお地域住民にとって大切な共有財産であり、今後は地域課題の解決や多世代交流の促進に資する拠点として活用されることが望まれます。

つきましては、本要望の趣旨をご理解いただき、市として十分にご検討いただくとともに、市が市有地の地権者として土地区画整理事業の準備組合等と対話・協議を行う際には、地域住民の意向として本内容を反映・共有していただくことを強く要望いたします。

なお、土地利用の中核となる図書機能については、地域活動の場という性格にとどまらず、児童・生徒の学習支援や読書活動の推進、調べもの相談等のレファレンスサービスを含む、学校教育を補完する社会教育機能を有する公共サービスであり、市の教育施策と一体的に位置づけられるべき重要な機能であることから、建物の新築や C 棟の改築の可能性も含め、機能の実現に必要な施設規模が確保されることを、併せて要望いたします。

記

1 土地利用の基本コンセプト

(総合コンセプト)

図書機能を核とし、だれもが自由に立ち寄り、居心地よく自分らしく過ごし、学び・交流・活動が自然に生まれるオープンな地域拠点

(個別コンセプト)

- ・図書機能を生かしたみんなが自由に活用できるオープンスペース
- ・だれもが居心地よく輝ける場所
- ・ぶらりと立ち寄り好きな事ができる場

2 主な土地利用(活用方法)

使い方のコンセプトを実現するために、敷地内に整備する主な土地利用として、以下のものを要望します。

(屋内)

- ・図書機能
- ・カフェ
- ・フリースペース
- ・飲食可能なスペース

(屋外)

- ・多目的に利用できる広場
- ・自由度の高い遊び場
- ・地域参加型の農園
- ・足湯等の憩いの設備

3_実現にあたって大切にしたい考え方

- ① 地域の記憶と人のつながりを大切にすること 閉校した学校の思い出を継承し、世代を超えた交流が自然に生まれる場とする。
- ② 誰もが気軽にに関わり、活躍できる場とすること 予約不要で立ち寄れる自由さを持ち、地元の人に関わり、働き、主役になれる仕組みとする。
- ③ 屋内・屋外を一体的に活用し、継続可能な運営を図ること 図書機能を核に、屋内外を有機的につなげ、無理のない収益性を確保しながら持続的に運営する。

4_検討・配慮が必要な事項

- ① 誰もが利用しやすい環境への配慮
バリアフリー・ユニバーサルデザインや移動手段の確保など、年齢や状況を問わず利用できる環境とする。
- ② 近隣環境との調和への配慮
騒音対策など周辺住民への影響に十分配慮し、地域と共存できる施設運営とする。
- ③ 地域特性を生かした、無理のない継続性の確保
相武台地区の魅力や特性を生かし、過度な制約を設けず、長期的に継続できる仕組みとする。

以上、地域住民の意向を踏まえた要望として提出いたします。

令和8年2月6日 相武台地区まちづくり会議 会長 浅田 聡

以上

(コンセプトイメージ)



Ⅱ 検討報告

1 検討の背景

令和8年3月に閉校するもえぎ台小学校の跡地について、令和6年11月の相武台地区まちづくり懇談会では、「街の駅化工画」として活用案を提案しました。

本年度は、「街の駅化工画」を検討の出発点とし、土地区画整理事業や市の活用の考え方と整合を図りながら、地域課題の解決に資するという視点で、“C棟とその周辺の敷地”の“主な土地利用(活用方法)”を、相武台地区まちづくり会議が主体となって検討しました。

令和7年度の地域検討

- 相武台地区住民へのアンケート(令和7年9月1日～28日)
- 相武台地区市民ワークショップ(令和7年11月15日・29日)



2 相武台地区住民へのアンケート(令和7年9月1日～28日)

「街の駅化工画」で整理した複数の活用アイデアについて、優先順位付けの参考にするこ
 とを目的とした、相武台地区住民に対するアンケートを実施しました。

【実施方法】

相武台公民館・図書館相武台分館・もえぎ台小学校にパネル設置(ネット回答可)

【質問】

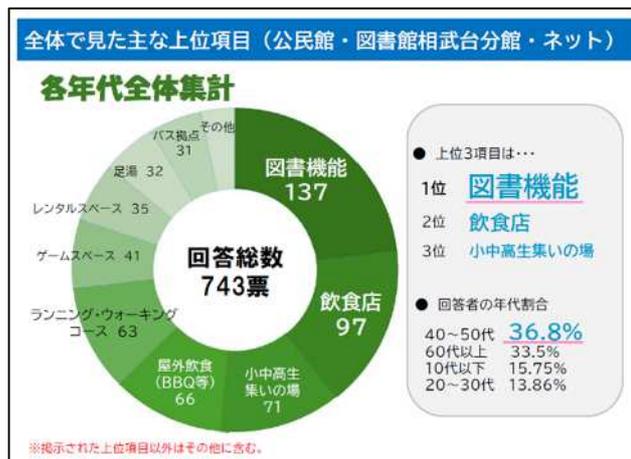
学校跡地に欲しいと思うものはどれですか？(選択式)

→R6.11 相武台地区まちづくり懇談会で、まちづくり会議より提案された“街の駅化工画”を基に選択肢を作成。

【結果】

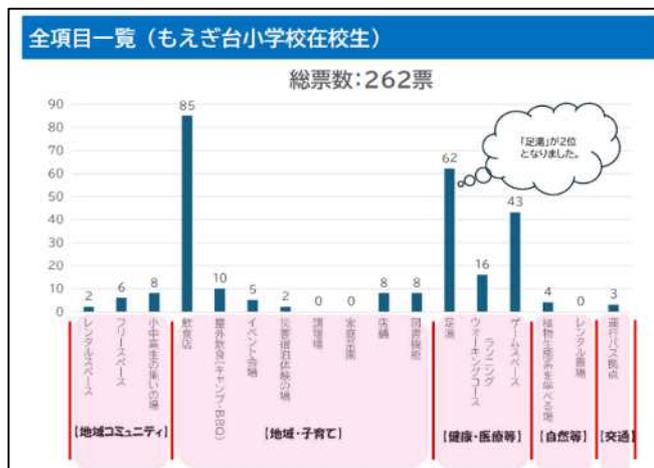
○相武台公民館・図書館相武台分館・ネットでの回答

→1位:図書機能 2位:飲食店 3位:小中高生集いの場



○もえぎ台小学校での回答

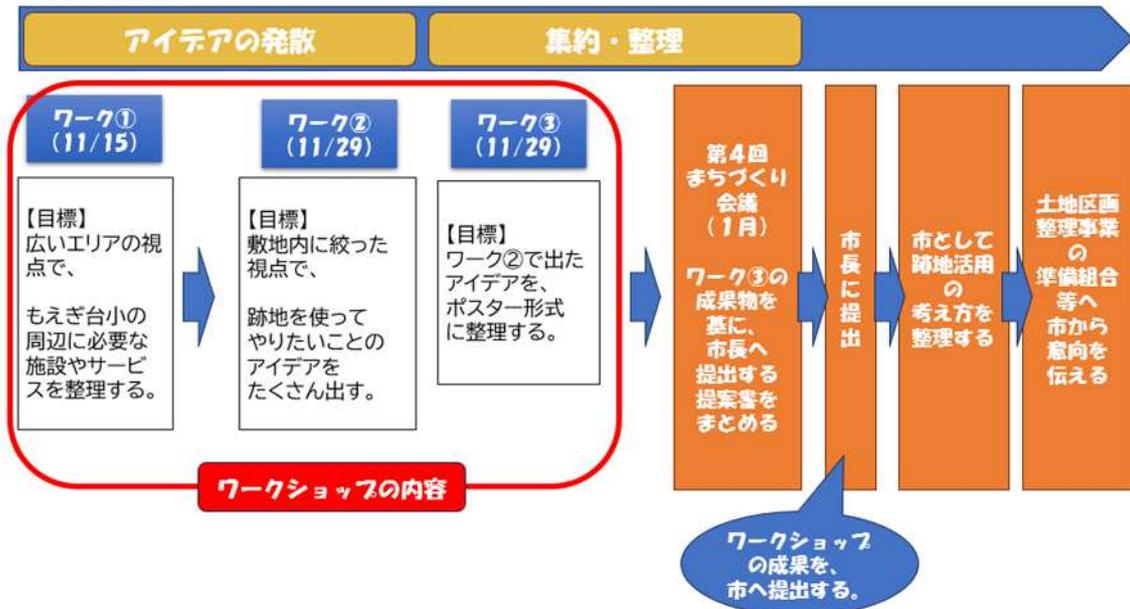
→1位:飲食店 2位:足湯 3位:ゲームスペース



3 相武台地区市民ワークショップ(令和7年11月15日・29日)

相武台地区まちづくり会議のイベントとして、“C 棟とその周辺の敷地”の“主な土地利用(活用方法)”を検討するためのワークショップを開催し、3グループに分かれて検討を行い、グループ毎に、「使い方のコンセプト」や「土地利用の候補」を整理しました。

検討の流れ



【結果 土地利用の候補(ワークショップ時点)】

- 屋内： ●図書機能 ●カフェ ●フリースペース ●飲食スペース
 屋外： ●農園 ●広場 ●足湯 ●遊び場

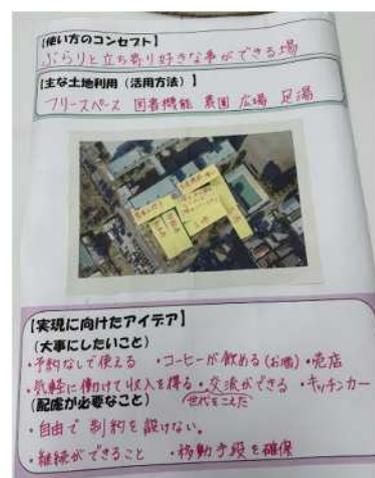
(A グループ)



(B グループ)



(C グループ)



4_まとめ

ワークショップで作成した、3グループの成果物を集約し、“主な土地利用”等についてのアイデアを以下のとおり整理しました。

【使い方のコンセプト】

- **図書機能**を生かした **みんなが自由に活用できるオープンスペース**
- **だれもが居心地よく輝ける場所**
- **ぶらりと立ち寄り好きな事ができる場**

【主な土地利用(活用方法)】

(屋内)

- 図書機能 ● カフェ ● フリースペース ● 飲食スペース

(屋外)

- 農園 ● 広場 ● 足湯 ● 遊び場

【実現に向けたアイデア】

(大事にしたいこと)

- 閉校した3校の思い出を残す ○安全安心の場であること
- 地元の人が働ける場にしたい ○活動のPRをする
- 屋内屋外の一体化・有機的に活用する ○自由に誰でもふらっと寄れる場所
- 交通の便 ○地域の皆が主役 ○人的地産地消 ○予約なしで使える
- コーヒーが飲める(お酒) ○売店
- 気軽に働けて収入を得る ○世代をこえた交流ができる ○キッチンカー
- 新築や増築の可能性も含めて検討

(配慮が必要なこと)

- バリアフリー・ユニバーサルデザインにする ○移動手段の充実化
- 自由度の高い遊び場にする(ボールゲーム…) ○近隣への防音対策
- 相武台地区の魅力を生かす ○自由で制約を設けない ○継続ができること
- 移動手段を確保